

## 第1回 大分川・大野川学識者懇談会 議事概要

平成26年3月7日（金）14:30～16:30  
大分河川国道事務所 別館第1、第2会議室

### 【出席者】

中野委員長、飯沼委員、川野委員、佐藤委員、島田委員、東野委員、  
本谷委員、吉田委員

### 【規約案等について】

- ◆ 規約については規約（案）のとおり了承され、平成26年3月7日より施行となった。
- ◆ 規約第5条（委員長）に基づき、委員長は中野委員が選出された。委員長指名により代理（委員長の職務を代行する者）は島田委員が選出された。
- ◆ 規約第6条（公開）については公開方法（案）のとおり了承された。

### 【要旨】 ◆：委員 ●：事務局

- ◆ 規約の目的に事業評価とあるが、本懇談会の設置により九州地方整備局が設置している事業評価監視委員会での審議はしないのか。
  - 本懇談会で事業評価について審議いただき、事業評価監視委員会に報告することとなる。
- ◆ 国土交通省は環境への意識が高いと思っている。環境政策で大野川水系河川整備計画策定以降、大きな変化の一つに「第3次生物多様性国家戦略」がある。議案項目の柱の一つに具体的にこれを提示すべきと思う。
  - 河川整備計画には環境に関する記述もあるため、河川水辺の国勢調査などの環境に関する最新情報を提示し、次回以降の懇談会でご意見をいただきたいと考えている。
- ◆ 河床低下が進行している大野川3km～4km付近は、昭和57年～平成13年で急激に低下しているが、その理由がわかれば教えていただきたい。
  - 昭和30～40年代の砂利採取で全体的に河床低下が進行し、既往最大の平成5年洪水後に局所的な河床低下が生じている。大野川では河床低下の進行が課題となっていることから、次回以降に内容を説明し、ご意見をいただきたいと考えている。

- ◆ 治水・利水が計画の中心となることはわかるが、現在の大野川水系河川整備計画では、環境に配慮するといった記述にとどまっているので、環境に踏み込んだ提案があるとよいのではないかと考えている。
  - 現在、環境や水質の調査等、環境への取り組みを行っているため、次回以降にその内容を提示し、ご意見をいただきたいと考えている。
  
- ◆ 河床が低下することの問題点はどこにあるのか。河床低下の根本的な解決を図るため、要因をきちんと整理し、提示していただきたい。
  - 河床低下により、護岸が壊れ洪水時の堤防崩壊が懸念されるなど、河川管理施設の安全性が低下することが問題となる。要因については、次回以降にその内容を提示し、ご意見をいただきたいと考えている。
  
- ◆ 上流の県管理区間との整合を図りながら計画を立てていくことが重要であるが、どのように考えているのか。
  - 大分県と調整を図りながら検討していきたいと考えている。
  
- ◆ 地震・津波に対して、どのような対策を行っていくのか、大野川水系河川整備計画の中にも盛り込んでいく必要があるのではないかと考えている。
  - 河川管理者として必要と判断される場合は、一部耐震対策を進めており、次回以降にその内容を提示し、ご意見をいただきたいと考えている。
  
- ◆ 大野川としては、どのくらいの流量を流すのが、生物等にとって良いのか。
  - 大野川水系河川整備基本方針では、正常流量について白滝橋地点で概ね  $17\text{m}^3/\text{s}$  と示している。
  
- ◆ 河川整備計画の点検を踏まえ、計画の見直しを行うか、行わないかは、どのように考えられているか。
  - 懇談会での意見を踏まえ、河川管理者が整備計画の見直しの必要性について判断する。